

少年消防クラブ指導課程の基準

小学校高学年(4~6年生)

指導内容	実施項目
・火や煙の性質について	・火や煙の性質(温度、速さ、拡散、毒性)を理解させる。
・火災の起こる原因について	・火気使用器具の火災原因について知る。
	・身の周りにある危険物を知る。
・火遊びの危険性について	・マッチ、ライター、ローソク等によって火災に至ったケースを、事例で説明する。
・火気使用器具の安全な取扱いについて	・年齢に応じた使用可能な火気使用器具を理解させる。
	・正しい使用方法を理解させる。
・火災の発見、通報について	・住宅用火災警報器の意義や維持管理方法を知る。
	・火災を発見したら、119番通報することを身に付けさせる。
	・非常ベルについて理解させる。
・初期消火のポイントについて	・初期消火の限界を知り、安全に避難できるようにする。
	・消火器の特性を知り、取扱方法を習熟する。
・救命処置について	・校内にあるAEDの役割を理解させる。
・安全な避難について	・避難器具の種類と役割を理解させる。
	・誘導灯、非常口の役割を理解させる。
	・学校外、自宅での災害発生時、自主的に避難できるようにする。
・地震対策	・非常持出品を準備する。
・災害の模擬体験	・災害時の煙を体験し、危険性を知る。
	・地震の揺れを体験し、地震発生時の行動がいかに困難かを知る。
・消防業務について	・社会科学習等を通じて、消防署の仕事を知る。
・火災予防の啓発	・防火作品の作成による、防火意識の高揚を図る。